

村民体育祭の今後について



い だ よ う じ
 飯 田 洋 司
 議 員

質問 人口減少の中、各行政区内で選手確保が難しくなっている。今後の村民体育祭の改革はどのようなのか。

答弁 (教育長) 少子高齢化の現状を踏まえ、地区対抗種目の内容を、幅広い年齢層の方が参加出来るよう工夫したり、一般参加種目をふやした結果、今年度は参加地区も増加に転じた。改善すべきは改善し、参加地区、参加者をふやすことに留意しながら、今後も村民体育祭を開催していきたいと考える。

地域交流館開所準備のタイムスケジュールは

質問 29年春、開設予定の地域交流館の企画・サービスなどの内容とタイムスケジュールは。



答弁 (経済建設部長) 交流館直売所は、JA茨城かすみと指定管理を前提に準備を進めている。企画は現在検討中

で、早急に関係各課で協議し決定する。オープン後は、毎月の販売イベント、ポイント還元セール、サイクルサポートステーション・サイクルスタンドの設置、受付係常時配置による観光・各種情報提供、ATM設置等を企画している。

大山スロープの環境問題について

質問 以前にも、何回かこの問題を質問したが、なかなか向上しない。ゴミ問題について今後の対策は。

答弁 (経済建設部長) 大山スロープ内での不法投棄は、警察官OBの廃棄物対策監理官による巡視・回収を行っている。霞ヶ浦河川事務所でも巡視し対応している。27年には啓発看板設置、28年7月には稲敷警察署が中心となり、水上バイク利用者のマナー向上キャンペーンを大規模に行

い、本村からも啓発活動に参加し、ゴミ持ち帰りチラシの配布や口頭での啓発活動をした。

周辺地域のゴミ集積場への投棄に関する防止策としては、掲示物の張りつけ、集積場の通りから離れた目立たない場所への移設申請をお願いしている。また、一部の湖面利用団体により、ゴミの持ち帰りについて、チラシの配布・口頭での啓発活動を実施していただいている。

